

平成 20 年度施策評価表

① 総合計画	まちづくりの目標	2 章 安全・安心で快適な住みよいまち（都市基盤の整備）			
	施策（大柱）	6 節 下水道	H20 実施計画事業費合計	3,010,952 千円	※「H20実施計画事業費合計」は、当該計画に主要な事業と位置づけられた事務事業について、各施策、各中柱でそれぞれ合計した事業費です。
	中柱	2 維持管理の充実		1,135,352 千円	
				千円	
				千円	
			千円		
施策に係る所属	下水道総務課、下水道建設課、下水道維持課、廃棄物対策課				

② 施策の概要	1) 基本方針及び施策の目的			
	<ul style="list-style-type: none"> ○市街化調整区域への計画的な下水道（污水）管整備を進める。 ○雨水対策や合流式下水道の改善に取り組む。 ○荒川右岸流域下水道への早期切替を進める。 ○下水道管渠や都市下水路の維持管理の充実につとめる。 			
	2) 施策の具体的な内容及び実施方法			
	<p>○計画区域の整備 河川などの公共用水域の水質保全、市民の生活環境の改善などを目的として、市街化調整区域の下水道（污水）整備を行うとともに、雨水管整備などの雨水対策を実施し、併せて合流式下水道の改善をはかる。また、流域下水道への早期切替を進める。 ○維持管理の充実 管路施設の老朽化に伴う事故を防止し、耐震化対策、水質環境基準の達成のため、下水道管渠の管理を充実し、都市下水路の適正な維持管理を行う。あわせて、下水道処理場及びコンポストセンターについても、適正な維持管理を行う。</p>			
	3) 分野別計画、指針			

③ 優先的に取り組む事業	4) 関連・類似施策				
	○2-5上水道				
	5) 施策に対する市民ニーズ				
	『平成19年度所沢市市民意識調査』（20歳以上の男女、無作為抽出による2000人を対象とし、平成19年11月に実施。831人より回収。）における、全43施策についての市民要望の確認（複数回答可）の結果です。				
	6) 施策に係る基礎数値				
	項目名	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度
	水洗化世帯	戸	120,278	122,968	125,913
	水洗化人口	人	290,938	295,334	299,223
	下水道処理区域面積	ha	2,910	2,931	2,969
	雨水浸透柵設置（支給）個数	個	884	581	476

③ 優先的に取り組む事業	事務事業名	成果指標名	指標の説明	単位	H19目標	H19実績	達成率%	将来目標
	080203 合流式下水道緊急改善事業	目標整備面積	貯留施設の数値を面積に換算している	ha	0	0	0.0	845
		雨水吐き口夾雑物除去施設設置	年度別設置箇所数（累計箇所数）	箇所	7	7	100.0	22
※「優先的に取り組む事業」とは、第4次所沢市総合計画・実施計画において、特に優先的に資源配分を行うとしたAランク事業のことです。H19年度でのAランク事業は、全体として67事業です。なお、この欄には、これらAランク事業の中で、「①総合計画一中柱」に位置づけられたものが記入されます。								

④ 5年後の目標／成果指標	指標名	説明	単位	基準値	H18	H19	H20	H21	H22	将来目標	
	【5年後の目標】 下水道普及率	下水道普及のための取組状況を示す指標	%	年度	目標値	89.7	90.6	91.4	92.3	93.2	年度
				実績値	89.8	90.2	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		1	目標値	
				%	87.9	達成率	100.1%	99.6%			93.2
				年度	目標値						年度
				%	実績値	実績値	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2				目標値
				年度	目標値						年度
				%	実績値	実績値	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2				目標値
				年度	目標値						年度
				%	実績値	実績値	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2				目標値
			年度	目標値						年度	
			%	実績値	実績値	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2				目標値	
			年度	目標値						年度	
			%	実績値	実績値	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2				目標値	
			年度	目標値						年度	
			%	実績値	実績値	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2				目標値	
			年度	目標値						年度	
			%	実績値	実績値	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2				目標値	

⑤ 平成19年度中に取り組んだ改革・改善点や、新たに実施した事業等、特徴的な取り組み										
飲食店等が接続されている、下水道本管は油脂が堆積しやすく、定期的に巡回又は、清掃し、流下能力の低下及び完全閉塞を未然に防いだ。他部所施工の道路工事に老朽化したマンホール蓋があるときは、舗装復旧前に取替え工事を行い、舗装に係るコストを削減した。										

⑥ 評価（課題及び目標）	1) 平成19年度評価により明らかとなった課題、及び新たに認識された課題				現在の進捗状況				
	水洗化促進の文書送付や個別訪問による普及活動について				<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	下水道管路施設の老朽化対策について				<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input checked="" type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	都市下水路、調節池の老朽化対策並びに耐震対策について				<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	下水道幹線の耐震化に向けた取り組み				<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向

⑥ 評価（課題及び目標）	2) 平成20年度における目標設定			達成水準（どこまで）			時期（いつまで）
	今期目標項目（何を）						
	下水道耐震対策事業の重要路線及び鉄道軌道下の耐震診断。			耐震診断業務委託を早期に発注し、年度末までには結果を出す。			年度末までに完了
	小手指地区の貯留施設及び導流管付設工事を開始する。			小手指地区合流式下水道の汚濁負荷量を分流式下水道並みに削減する。			平成22年3月末
3) 今後の方向性（事務事業の重点化・効率化、実施手段の見直し、他施策との連携、市民との協働 など）							
下水道事業は公共用水域の水質の保全や市民の生活環境の改善、さらには市街地の浸水防除といった市民生活の向上に大きく寄与する重要な事業施策である。市街化調整区域の下水道整備（污水）に、平成15年度より着手した第1期市街化調整区域下水道整備事業も平成19年度に予定通り完了し、引き続き平成20年度から整備手法やコスト削減に努めながら、第2期市街化調整区域下水道整備事業を整備計画に沿って推進して行く。また維持管理についても、老朽化した下水道管路施設の機能を適正に維持する為の管更生等による延命化を図るとともに、大規模な地震が発生していることを踏まえて、重要路線や鉄道軌道下の下水道施設の地震対策緊急整備計画を策定し、計画にそった耐震対策を行って行く必要がある。							
評価日	平成20年8月7日	記入者職氏名	下水道部長	河野 清康			

平成 20 年度施策評価表

① 総合計画	まちづくりの目標	2 章 安全・安心で快適な住みよいまち（都市基盤の整備）			
	施策（大柱）	6 節 下水道	H20 実施計画事業費合計	3,010,952 千円	※「H20実施計画事業費合計」は、当該計画に主要な事業と位置づけられた事務事業について、各施策、各中柱でそれぞれ合計した事業費です。
	中柱	1 計画区域の整備		1,875,600 千円	
				千円	
				千円	
				千円	
			千円		
施策に係る所属	下水道総務課、下水道建設課、下水道維持課、廃棄物対策課				

② 施策の概要	1) 基本方針及び施策の目的
	○市街化調整区域への計画的な下水道（汚水）管整備を進める。 ○雨水対策や合流式下水道の改善に取り組む。 ○荒川右岸流域下水道への早期切替を進める。 ○下水道管渠や都市下水路の維持管理の充実につとめる。
	2) 施策の具体的な内容及び実施方法
	○計画区域の整備 河川などの公共用水域の水質保全、市民の生活環境の改善などを目的として、市街化調整区域の下水道（汚水）整備を行うとともに、雨水管整備などの雨水対策を実施し、併せて合流式下水道の改善をはかる。また、流域下水道への早期切替を進める。 ○維持管理の充実 管路施設の老朽化に伴う事故を防止し、耐震化対策、水質環境基準の達成のため、下水道管渠の管理を充実し、都市下水路の適正な維持管理を行う。あわせて、下水道処理場及びコンポストセンターについても、適正な維持管理を行う。
	3) 分野別計画、指針

③ 優先的に取り組む事業	4) 関連・類似施策
	○2-5上水道
	5) 施策に対する市民ニーズ
	『平成19年度所沢市市民意識調査』（20歳以上の男女、無作為抽出による2000人を対象とし、平成19年11月に実施。831人より回収。）における、全43施策についての市民要望の確認（複数回答可）の結果です。
	6) 施策に係る基礎数値

項目名	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度
水洗化世帯	戸	120,278	122,968	125,913
水洗化人口	人	290,938	295,334	299,223
下水道処理区域面積	ha	2,910	2,931	2,969
雨水浸透柵設置（支給）個数	個	884	581	476

事務事業名	成果指標名	指標の説明	単位	H19目標	H19実績	達成率%	将来目標
080203 合流式下水道緊急改善事業	目標整備面積	貯留施設の数値を面積に換算している	ha	0	0	0.0	845
	雨水吐け口夾雑物除去施設設置	年度別設置箇所数（累計箇所数）	箇所	7	7	100.0	22

※「優先的に取り組む事業」とは、第4次所沢市総合計画・実施計画において、特に優先的に資源配分を行うとしたAランク事業のことです。H19年度でのAランク事業は、全体として67事業です。なお、この欄には、これらAランク事業の中で、「①総合計画一中柱」に位置づけられたものが記入されます。

指標名	説明	単位	基準値	H18	H19	H20	H21	H22	将来目標	
④ 5年後の目標／成果指標	【5年後の目標】 下水道普及率 下水道普及のための取組状況を示す指標	%	年度	目標値	89.7	90.6	91.4	92.3	93.2	年度
			実績値	89.8	90.2	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		1	目標値	
		%	達成率	87.9	100.1%	99.6%				93.2
			年度	目標値						年度
		%	実績値	実績値			実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2			目標値
			達成率							
%	年度	目標値						年度		
	実績値	実績値			実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2			目標値		
%	達成率									
	年度	目標値						年度		
%	実績値	実績値			実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2			目標値		
	達成率									

⑤ 平成19年度中に取り組んだ改革・改善点や、新たに実施した事業等、特徴的な取り組み

第一期市街化調整区域汚水布設事業は平成15年度から19年度の5か年で事業計画をし、計画通り19年度に完了した。また、北秋津地区における雨水対策事業として平成18・19年度の2か年工事も予定通り完了した。合流式下水道緊急改善事業における夾雑物の公共水域への流出防止において、維持管理を含めコストを考慮し実施した。

1) 平成19年度評価により明らかとなった課題、及び新たに認識された課題	現在の進捗状況				
コストを考慮した事業計画及び施工方法の検討を行う。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
第二期市街化調整区域の汚水管布設整備を進める。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向

2) 平成20年度における目標設定	達成水準（どこまで）		時期（いつまで）
今期目標項目（何を）			
第二期市街化調整区域の汚水管布設事業において30haを完了する	整備完了地区の生活環境が向上する		平成21年3月末
合流式下水道緊急改善事業における小手指地区の貯留施設及び導流管布設工事を開始する	小手指地区合流式下水道の汚濁負荷量を分流式下水道並みに削減する		平成22年3月末
3) 今後の方向性（事務事業の重点化・効率化、実施手段の見直し、他施策との連携、市民との協働 など）			
公共用水域の水質汚濁は生活排水が大きな要因となっていることから引き続き下水道整備を推進する。また、浸水被害の出る地区は、市民の生活を守るため引き続き雨水対策事業を推進する。公共用水域の水質保全を図るため、合流式下水道緊急改善計画に基づき事業を推進する。			
評価日	平成20年8月7日	記入者職氏名	下水道部次長 杉村 雄三